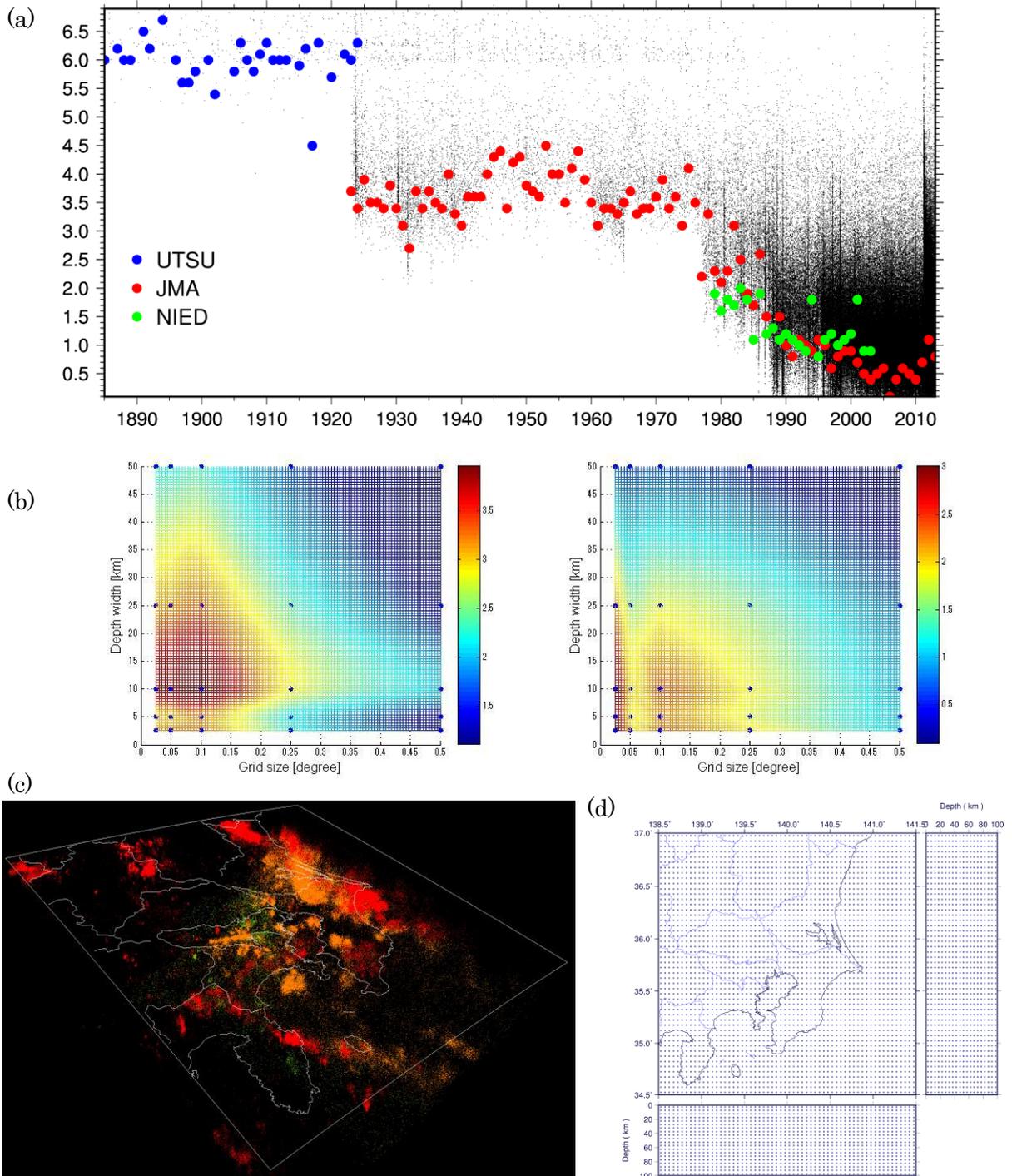


首都圏の過去の地震活動に基づく地震活動予測手法の確立 (3.1.4 参照)



- (a) 気象庁地震カタログ (JMA)、防災科学技術研究所が作成した地震カタログ (NIED)、宇津カタログ (UTSU) のコンプリートネスマグニチュード。震源の深さは、0 から 100km。縦軸はコンプリートネスマグニチュード、横軸は時間を示す。
- (b) 各空間グリッドにおける球モデルの情報利得の最大値。(左) 3m1st、(右) 3m2nd
- (c) テスト領域内の気象庁一元化震源の三次元表示。期間:1997/10-2013/12、マグニチュード 1.0 以上、深さ 100km 以浅
- (d) 決定されたテスト領域。水平空間解像度  $0.05^\circ \times 0.05^\circ$ 、深さ方向の解像度 5km。